「第三回　日銀グランプリ～キャンパスからの提言～」論文募集中！

▼日本銀行では、今年度も、大学生の皆さんを主な対象とする金融経済分野の小論文・プレゼンテーションのコンテスト「第三回 日銀グランプリ～キャンパスからの提言～」を実施します。

今回のテーマは、「わが国金融・経済の課題と明日への処方箋」です。書類審査による予選、およびプレゼンテーションと審査員との質疑応答による決勝により、入賞チームを決定します。

応募の締め切りは二〇〇七年九月二十八日です。詳しくは日本銀行ホームページをご覧下さい。www.boj.or.jp/

若い皆さんの意欲あふれる問題提起をお待ちしています。

第２回日銀グランプリ決勝の模様

「日銀夏休み親子見学会」のご案内

▼日本銀行では、恒例となりました「夏休み親子見学会」を今年も開催する予定です。

「日銀に行ってみたい！」「日銀って何をしているところ？」というお子さまの好奇心にお応えします。昨年は、本店内の見学や親子クイズ大会、お札の数え方などの体験学習に加え、「夏休み自由研究」にも役立つよう、「にちぎんレポート」を作成して頂く時間を設けました。

参加は無料です。詳しくは日本銀行ホームページでご案内して参ります。皆様方のお越しを心よりお待ちしています。

お問い合わせ先　日本銀行情報サービス局見学担当　〇三―三二七七―二八一五

１億円模擬パック体験

旧館地下金庫見学

編集後記

■インタビュー「扉を開く」シリーズ第２回目は、登山家で医学博士の今井通子先生にお話を伺いました。人間も動物の一種。生き残るための成長過程は、実にシステマチックに無駄なくできており、それを親の都合や誤った知識でゆがめてしまったら、子供がバランス良く育つはずがないとの明快なご指摘。納得された方も多いのではないでしょうか。人間も自然界の中の一部に過ぎないという謙虚な姿勢で、自然から学ぶ。環境問題も含め、今こそ真剣に考えていかねばならないことなのではないでしょうか。

折しも、今回「対談」にご登場いただいた藤原校長先生は、「情報編集力」の重要性を説かれておられますが、今井先生も自然の中で生きていくためのポイントとして、同様のことをおっしゃられています。現場を知り尽くし、それぞれの道を極められたお二人のご意見、印象深く残りました。（ＡＵ）

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。
（http://www.boj.or.jp/type/pub/nichigin.htm）

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解については、日本銀行ホームページ（http://www.boj.or.jp/）をご覧ください。

にちぎん　2007年 夏号
編集・発行人　恵谷英雄
発行　日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町2-1-1
☎03-3277-2405

デザイン　株式会社市川事務所
印刷　敷島印刷株式会社
©日本銀行情報サービス局　禁無断転載